

普通科では前年度より男子が二・二ポイントの増、女子が〇・一ポイントの増となり、普通科全体では一・一ポイントの増となった。

さらに職業に関する学科では、家庭科が前年度より四・六ポイント増加したほかはいずれの学科も前年度を下回った。職業科全体では〇・一ポイントの増となった。職業科のいずれの科でも、女子の大学等進学率が前年度より上回り、男子はいずれの科でも前年度を下回っている。理数科は例年卒業生が少ないため、進学率の変化が比較的大きく、前年度に比して四・五ポイント減少した。

(二) 各種学校への入学(表1、2、表3の1・2、表6参照)

予備校を含む各種学校等への進学者数は、男子二千六百六十九人(入学率二十三・四パーセント)、女子二千二百二十八人(同十九・四パーセント)であった。

学科別にみると、商業科、家庭科、理数科が増加している。全体では前年度より一・二ポイント減少した。

なお、予備校入学者を含まない各種学校等入学者は、三千二百十人(入学率十四・四パーセント)で前年度より〇・一ポイント増加した。

(三) 次年度進学希望者(表2、3の1参照)

次年度進学希望者数は、男子千六百六十七人(十四・六パーセント)、女子四百六十二人(四・二パーセント)である。全体では、六十二年度に十・七パーセントと五十五年度以来はじめて十パーセント台になったが、六十三年度再び九・五パーセントと前年度より一・二ポイント減少し九パーセント台へもどった。

(四) 学部別進学者入学者(表4参照)

進学者総数五千二百九十人の内訳は、文科系二千四百六十八人(四十六・六パーセント)、理科系千三百三十六人(二十一・五パーセント)、その他千六百八十六人(三十一・九パーセント)となっている。

(五) 大学別進学者(表5参照)

表5は進学した主な大学について、進学者の実数を示したものである。

六十三年度卒業生の国立大学への進学者は、全体で前年度より八十九名増加した。大学別では、福島大学が二百七十一名となり、前年度より十一名の増となったほか、前年度比で山形大学が十一名増、東北大学が六名増、茨城大学が十九名増、筑波大学が四名増、宇都宮大学が十八名増となった。しかし新潟大学では五名減少している。これらの大学への進学者で国立大学進学者の七十一・八パーセントを占める。

表2 昭和63年度進学者実数(公立全日制)

学科別	区分 性別	卒業者数	進 学 者 数						各種学校等 入学者数 (予備校を 含まず)	次年度 進学 希望者数
			計	大 学			短期大学	その 他		
				国 立	公 立	私 立				
普通科	男	6,275	1,964	579	28	1,264	69	24	818	1,538
	女	7,885	2,742	276	23	804	1,625	14	1,463	454
	計	14,160	4,706	855	51	2,068	1,694	38	2,281	1,992
農業科 農水産科	男	1,028	29	3	0	6	5	15	110	2
	女	338	20	0	0	2	17	1	29	0
	計	1,366	49	3	0	8	22	16	139	2
工業科	男	2,756	155	7	0	125	23	0	254	52
	女	290	10	0	0	3	7	0	21	2
	計	3,046	165	7	0	128	30	0	275	54
商業科	男	1,237	107	4	0	88	13	2	202	39
	女	1,518	109	0	0	12	96	1	164	1
	計	2,755	216	4	0	100	109	3	366	40
家庭科	女	876	104	1	0	3	99	1	140	1
理数科	男	107	46	12	0	34	0	0	9	36
	女	8	4	3	0	1	0	0	0	4
	計	115	50	15	0	35	0	0	9	40
全日制合計	男	11,403	2,301	605	28	1,517	110	41	1,393	1,667
	女	10,915	2,989	280	23	825	1,844	17	1,817	462
	計	22,318	5,290	885	51	2,342	1,954	58	3,210	2,129